

令和 6 年 10 月 24 日

再提出

令和 6 年 11 月 5 日

小野市議会議長 高坂純子 様

市民クラブ

小林 千津子

議員派遣報告書

先般、実施しました議員派遣の結果について、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 派遣実施日 令和 6 年 10 月 9 日（水）～令和 6 年 10 月 10 日（木）
- 2 派遣メンバー
前田昌宏 河島三奈 前田光教 山本悟朗 小林千津子
- 3 派遣先及び派遣内容

全国市議会議長会研究フォーラム

岩手県民会館 トーサイクラシックホール 岩手

主権者教育の新たな展開

10 月 9 日

13 時 20 分～

基調講演 菅義偉 第 99 代内閣総理大臣

人口減少社会における地域の未来図

国会日程の都合により欠席。ビデオレターによる挨拶。

講演内容

地方の活力がこの国の活力となる。これを推進するために以下の 3 点の施策を実行した
ふるさと納税 インバウンド増加施策 農産品の輸出拡大

地方議会の議員さんはその土地にあった施策の展開により、地方の活力を増すように取り組んでほしい。との内容でした。

追加テーマ

地方議会議員の厚生年金加入について

全国市議会議長会 事務総長 全国市議会議長会 副会長 畑中 優周
全国市議会議長会 会長 坊 恭寿

議員年金の取組のこれまで経緯を説明 各市議会での意見書採択の依頼
決議文でも良いから採択してほしい。

14時20分～

パネルディスカッション 地方議会の課題と主権者教育

コーディネーター	井柳 美紀	静岡大学教授
パネリスト	土山希実枝	法政大学教授
	越智 大貴	一般社団法人代表理事
	渡辺 嘉久	読売新聞東京本社
	遠藤正幸	盛岡市議会議長

静岡大学教授 井柳 美紀 地方議会の課題

投票率の低下 無投票当選の増加 議員の年齢・性別の偏り
議会が何をしているか、議員が何をしているかわからない。
→出前講座や模擬議会などを行い、議会自らが主権者教育を講ずること。
議会はなにをなすべきか、どれほどの資源を用意すべきか、

法政大学教授 土山希実枝 誰の為の主権者教育が

議会は主権者教育をすべきでない。
議会や議員を知ってほしいは 誰の為なのか、
政治に関心がない、どうせ変わらないから選挙に行かない。一方で社会のために働きたいともおもうている。
議論をする事を学ぶ場の提供として、議会は役割を果たせる程度。

一般社団法人代表理事 越智 大貴 学校での社会科の授業は未だ暗記科目

知らない選挙をしてもいいのか、
どうせ何も変わらないので選挙にいかない。
学校の主権者教育は選挙の仕組みなどの話が多い。
文科省の方針変更に応じ、具体的な政治課題をテーマにすると
各方面からクレーム続出

読売新聞東京本社 渡辺 嘉久

人口減少社会と借金依存の財政 右肩下がりの未来

政治を知らない私が投票して世の中が変な方向にいつてはいけないので選挙に行かない。との若者の考え 誰を選べば良いかわからないシステム

盛岡市議会議長 遠藤 政幸

盛岡市議会の主権者教育の取組高校生議会の開催

次代を担う高校生が、選挙及び政治並びに身近な地方行政への関心を高めること
年代によって求める政策は変わる、仕事が変わる人を集める。

地方選挙は3.4月にしてほしくない。政治を教えるのは難しい。

地方議会と主権者教育

井柳 地方議会選挙では争点が見えてこない 学校の中立性との兼ね合いは
事務局を含めたマンパワーは足りるか？

土山 未来の市民の育成。議会は議論する場所なので話し合う機会が大切。

何が正しいかわからない。固有の意見が尊重されず正しい答えを探す事を求められて
育っている。

遠藤 もりおか mirai おでかけミーティング

議員が大学に出向き、テーマを定めてディスカッションを実施

渡辺 議員は町に出て、色んな考えを学ぶことが大事。

変わったを実感させる事は大切 高校生議会のマニュアルを作って全国でやれば、

越智 議論して合意形成が生まれて何かが変わる？変わるかも？の体験が大事

選挙に行こう！ではなく 選挙に行かない？の感性での教育が重容

16 ; 20 次期開催地挨拶

北海道札幌市

16 ; 30 終了

10月10日 9時～

課題討議 主権者と教育の取組報告

コーディネーター 河村 和徳 東北大学准教授

事例報告者 白鳥 敏明 伊奈市議会前議長

諸岡 覚 四日市市議会議員

服部香代 山鹿市議会議長

東北大学准教授 河村 和徳 地方議会と主権者教育

選挙権年齢の18歳引き下げの論点

大人になるプロセスの変化 知識の提供だけでなく実践の場の提供
以前は大人や社会に触れながら成長していたが今はその機会が現
象多様な意見があることを理解

正解を教えよう、学ぼうとする誤った姿勢 右肩下がりの地域では
声をあげるか出ていくしかない 出ていかないためには何か行動
を起こす必要がある。

議員と会うだけでも意味がある

伊奈市議会前議長 白鳥 敏明

高校生の議会傍聴と意見交換会の取組(市内の4高全てが対象)平成30年の無投票の
選挙結果を受け、令和元年から実施。令和6年には高校生からの請願を受理
他にも意見交換会で生徒から出された意見を市議会として検討 →当局に要望
→取組の結果をフィードバック
成果(高校生) 議員と意見交換することの大切さを感じた

四日市市議会議員 諸岡 覚

主権者教育の取組 ワイ！ワイ GIKAI

2014年議会改革をしても投票率は上がらなかった

従来から議会報告会とシティミーティングを実施してきたがマンネリ化

令和4年度から4つある常任委員会がそれぞれ若年層との意見交換会を開

催中学校、高校、大学、商工会議所青年部など高校生議会

テーマごとの委員会に分かれ、意見交換を行い、本会議場で、意見書の採択を行う。

四日市市議会だよりこども号 毎年7月に発行 夏休みの自由研究の材料に
高校生から、いろんな議員がいる。面白かった。

山鹿市議会議員 服部 香代

なりたい職業やランキングベスト10入りを目指して小学校で

シチズンシップ教室を実施

市議会について知る

議員の仕事を理解する

選挙の意義や、投票の大切さがわかる

感想(高校生)一票の大切さを知った選んだ人によってどんな未来になるのかを知った

選挙は簡単ではないと思った真剣に考えて選んでいこうと考えた。

市民ボランティア 議員の努力が見えた 選挙の意義や議員の仕事を理解できた。

主権者教育の実践から見えた成果と課題

白鳥 高校生から多様な意見・提案が生まれてきた。

議会も高校生のことを考えるようになった。

高校生から請願 「子育て環境改善」

保育園にアンケート調査を実施して分析の後請願

- 諸岡 議員個々のキャラクターに触れて、色んな議員がいる事を高校生が知る。
 本題からは有権者ではない留学生との交流も為にはなつた。
 若者を層として捉えるのではなく、個々と触れ合うことで意見が出てくるし、教育にも繋がる。
- 服部 45 分間の授業で民主主義を伝えるのは難しい。
 こどもたちは、強い意見が出てくるとそれに引っ張られる。
 議員の仕事は議員にしか語れない。
 こどもたちは議員に会ったことを親に伝える。→親の投票行動に繋がる。
- 白鳥 中学校キャリアフェス(地域の企業や団体を知り、将来の進路を学ぶ場)に
 市議会として参加
- 諸岡 個人の意見だが、立候補体験などしてみても公式の政治塾があっても良いのでは
- 服部 事業についてワークショップ方式で教育を実施するなど、複数のコンテンツを継続して実施する事が大事

《所感》

議長会による主権者教育の推進

1. 地方議会の課題として・投票率の低下 ・無投票当選の増加
 議員の性別や年齢構成の偏り
2. 議会に対する関心を高め、理解を深める主権者教育を一層推進する事。
3. いわゆる出前講座や模擬議会など、議会自らが主体的に行う主権者教育の取り組みに対する支援を講ずること

がテーマでした。小野市に於いても投票率の低下は勿論ですが、議員構成に至っては女性議員が増加しており、年齢構成の偏りも現在ではない状態です。

2. に至っては、当市は女性のチャレンジ塾を開催し、女性議会も4年に一度ずつ5回開催それにより女性議員が増えました。中学生に傍聴にもお越し頂きました。講師の先生から子供の内から主権者教育をとの話がありました。身近に議会や議員たちと接する機会を作る事が必要と考えます。

土山教授による「議会は主権者教育をすべきでない」。「議論をする事を学ぶ場の提供として、議会は役割を果たせる程度」と話されていました。議員が動いて選挙活動のための顔を売るようではいけないと考えます。

それぞれの立場での講演内容でした。なるほどと思ってお聞きいたしましたが、当市にもって帰って同じようなことができるのかは疑問ですが。

